

～国民健康保険の加入状況～

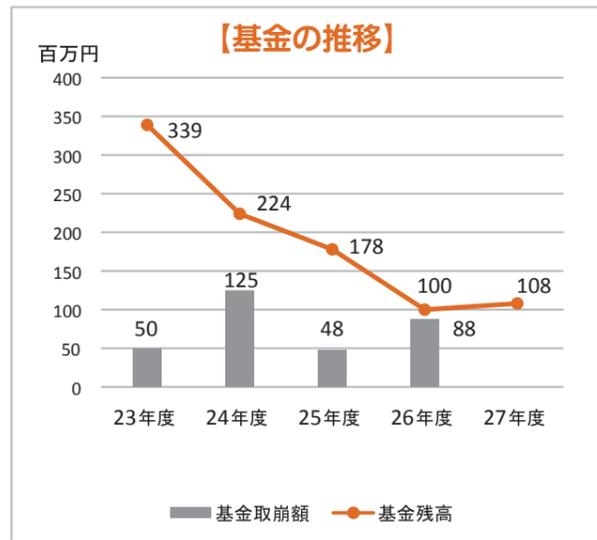
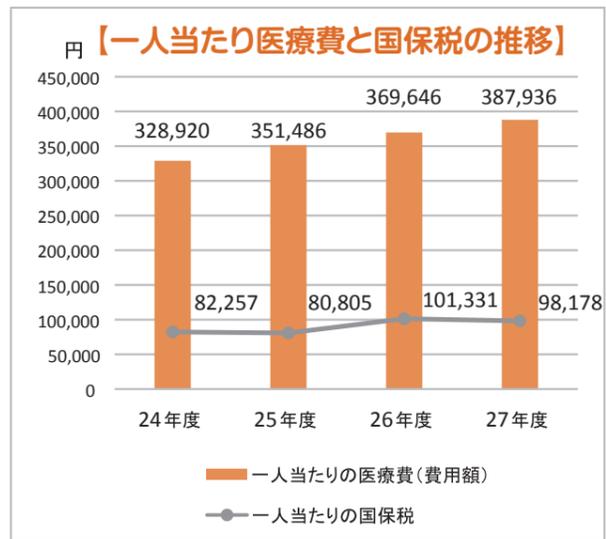
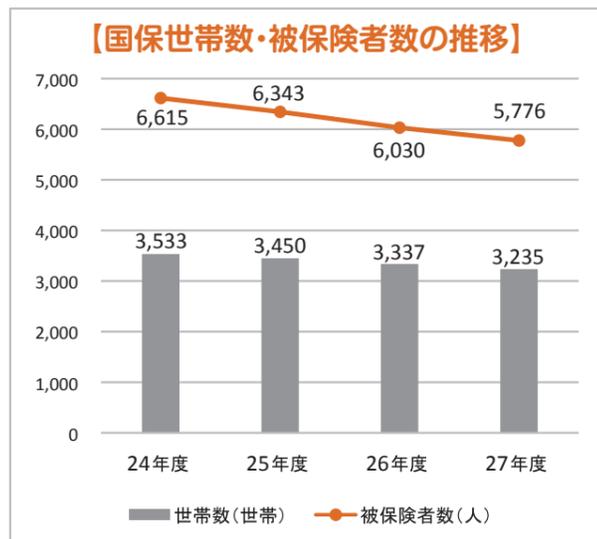
平成27年度の国保世帯数は、平成27年度平均で3,235世帯となり、前年度より102世帯、3.1%の減少となりました。

また、被保険者数は、平成27年度平均で5,776人となり、前年度より254人、4.2%の減少となりました。なお、本町の人口に占める割合は、36.1%となっています。

世帯数、被保険者数は、少子高齢化による人口の減少や後期高齢者医療制度への移行等により通減傾向になっています。

～一人当たりの医療費と国保税～

平成27年度における一人当たりの医療費は387,936円で、一人当たり国保税は98,178円となりました。



◆医療費の適正化のために

- ①かかりつけ医を持ちましょう。
- ②休日、夜間の受診や重複受診は避けましょう。
- ③小児救急電話相談を利用しましょう。(＃8000)
- ④ジェネリック医薬品を利用しましょう。

◆特定健診・特定保健指導を受けましょう

対象者(40歳以上75歳未満の国保の被保険者)の方は、年に1回必ず受診して、ご自身の健康管理に役立てましょう。

平成27年度決算における基金残額は約1億円です。人口の年齢構成が年々高齢化し、それによる受診率や医療費の増加が見込まれる中、一定額の基金を確保していくことが重要になってきます。

平成27年度国民健康保険特別会計決算報告について

～依然として厳しい財政状況が続いています～

平成27年度の国民健康保険特別会計の決算状況は、歳入が32億6,200万円(対前年度比10.4%増)歳出が31億8,300万円(対前年度比10.8%増)となりました。歳入、歳出差し引き7,800万円のうち、一部を国保財政調整基金に積み立て、残額を平成28年度に繰越しました。

歳入の主なものは、国・県支出金で9億7,000万円(対前年度比1.4%増)で歳入の約3割を占めています。

国民健康保険税は5億7,200万円(対前年度比6.6%減)で歳入の約2割を占めており、医療費の重要な財源となっています。

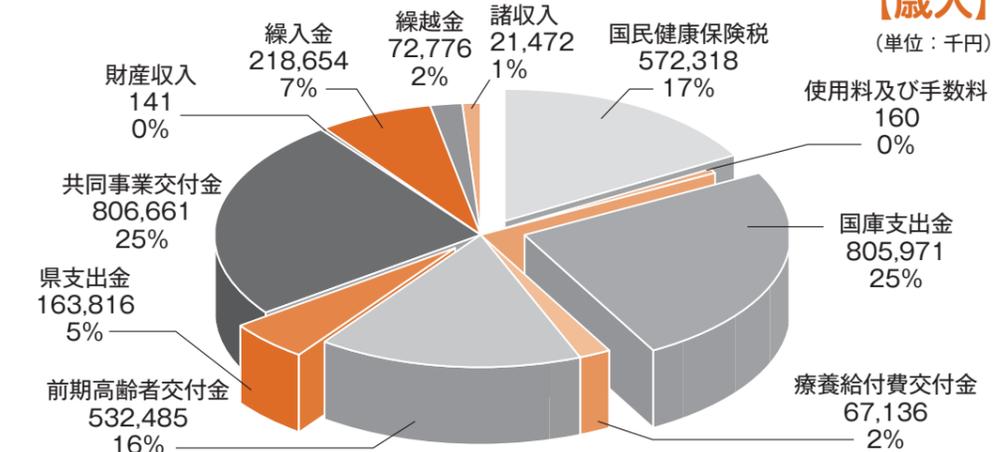
歳出の主なものは、医療費の支払となる保険給付費で約18億9,700万円(対前年度比0.7%増)で歳出の約6割を占めています。

後期高齢者支援金や介護納付金、高額な医療費等の支払のための共同事業拠出金とあわせると歳出の約9割強を占めています。

山都町では国保財政運営の健全化に向け、平成26年度に国保税の改正を行うとともに医療費の抑制のため特定健康診査事業を住民検診や節目検診と一体的に実施し、増加する生活習慣病や重症化予防に取り組みました。

～歳入歳出決算状況～

【歳入総額 3,261,590 千円】



【歳出総額 3,183,203 千円】

